第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

所属	局名	部名	室・課（出先機関は所属）名	所属のホームページ
	教育局	－	横浜平沼高等学校	http://www.yokohamahiranuma-h.pen-kanagawa.ed.jp

Ⅰ　業務概要

全日制の課程　普通科

本校は創立116周年を迎えた県内屈指の伝統校です。21世紀を生きる生徒のため「人間性豊かで創造力に富み、指導的な役割を果たせる人間を育成する。」を教育目標としています。2期制を導入して授業時間数を確保すると共に、進路第一希望実現に向けた教育課程など学力向上進学重点校エントリー校として、学習と部活動を両立できる教育環境を目指しています。 さらに、グローバル教育研究推進校として英語スピーチ発表会、GTEC全員受験、外部講師による講演会等のさなざまな取り組みを行っています。

なお、校章は、「裏桜」と「鏡」とで構成されています。裏桜は、堅実・謙譲・優雅・清潔を意味し、鏡は、自らを照らすという、自省・明快・努力を意味します。

校章

校舎棟

Ⅱ　支出の状況

（単位：千円）

			第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	出納整理期間	累計
事業経費	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	70,974	1,520	7,924	30,275	31,254		70,974
	維持管理費	55,248	5,517	19,314	6,307	24,110		55,248
	計	126,221	7,037	27,238	36,582	55,364	0	126,221
人件費　（注１）			167,684	110,104	174,453	113,900		566,140
合計			174,721	137,342	211,035	169,264	0	692,362

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	57	57	59	59
	上記以外の職員	26	29	28	28
	計（人）	83	86	87	87

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成28年４月１日現在）

		１年	２年	３年	合計
学級数		7	7	7	21
生徒数	男	65	79	76	220
	女	211	199	199	609
	合計（人）	276	278	275	829

２　年間行事予定

４月	入学式, 始業式	７月	文化祭	10月	ｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ	２月	入学者選抜
５月	校外学習, 体育祭	８月	夏季ｽﾀﾃﾞｨｼｮｯﾌﾟ	10月	修学旅行	３月	ｽﾎﾟｰﾂ大会, 卒業式
６月	防災訓練	９月	防災訓練､ｽﾎﾟｰﾂ大会	12月	ＧＴＥＣ	３月	合唱ｺﾝｸｰﾙ, 修了式

３　進路の状況

		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
卒業者数		279	275	278	278	319
進　学	大　学	234	229	240	227	269
	短期大学	5	2	2	6	6
	専門学校・各種学校	8	7	4	1	3
就　職		1	0	0	0	0
その他・進学準備等		31	37	32	44	41

Ⅴ　業務運営に関する評価

１　平成２８年度の学校目標

〈教育課程〉
(1)生徒がより主体的に活動を行い、課題解決に必要な思考力･判断力･表現力を身に付けられるように教育課程を編成するとともに授業充実を図る。
(2)生徒の学習ニーズに応えるとともに、言語活動とグローバル教育の充実を図る。
〈生徒指導・支援〉
(1)コミュニケーション能力を養い、他者への思いやりを大切にし、主体的に行動できる人格を育成する。
(2)生徒一人ひとりに目をむけて、適切な生徒理解に基づく生徒支援を実践すると共に、生徒が安心、安全な学校生活が送れるよう校内整備を進める。
〈進路指導・支援〉
(1)３年間を見通して各学年のプロセスを重視した進路指導計画を確立し、組織的・体系的な進路指導を行う。それにより、生徒がより高い希望を持ち、幅広い視野と柔軟な思考力を養い、社会において指導的な役割りを果たせる素地の育成を支援する。
〈地域等との協働〉
(1)ＰＴＡや地域の教育機関との連携事業を推進し、地域の教育力を活用して地域とともにある学校づくりを推進する。
(2)地域貢献活動や地域の特別支援学校等との交流を推進する。
〈学校管理・学校運営〉
(1)大規模災害に備え、職員・生徒が協力して行動できる体制を整備する。
(2)事故不祥事の防止に努める。

２　平成２８年度の学校目標の評価

〈教育課程〉
(1)行事や部活動の時間を確保しつつ、授業時間を確保するカリキュラムを策定し、生徒や保護者及び中学生への周知を進めている。各教科において研究授業や研究協議を行い、教員間の情報共有や意識改善を図れた。
(2)ナミビア共和国駐日大使による講演会や留学生による講義、スピーチ大会やディベート大会など、グローバル教育を進め生徒の意識改革を進めた。
〈生徒指導・支援〉
(1)体育祭、文化祭や部活動を通して、生徒が主体的に行動し、他者との円滑な関係を築けるような人格育成に努めた。
(2)スクールカウンセラーやＳＳＷとも連携し、相談体制を整備した。
〈進路指導・支援〉
(1)外部講師による教員研修を実施し、３年間を見通した組織的・体系的な進路指導を進め、生徒がより高い希望を持ち、幅広い視野と柔軟な思考力を養い、社会において指導的な役割を果たせる素地の育成に努めた。
〈地域等連携〉
(1)部活動において地域の小学校や中学校と交流するなど地域と共に学校づくりを進めている。地域貢献活動や地域主催の清掃活動に取り組むなど、地域との協働・連携が深まった。

連絡先（電話番号）	045-313-9200